

# 市議会だより

## 5月臨時会

- 市議会議員選挙後の議会人事を決定

## 6月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案などを可決

### 目次

議会の人事……………	②・③
議案の審議(5月臨時会・6月定例会) ……………	④
委員会の審査……………	⑤
議決結果・人事案件……………	⑥
市政に対する一般質問・陳情 ……………	⑦～⑬
市議会案内板……………	⑭



# 新議員 19 人を紹介します

4月25日の市議会議員選挙で選ばれた新議員を議席番号順に紹介します。  
任期は令和3年5月5日から令和7年5月4日です。

<p>1 くまだ なおこ 熊田 尚子</p>  <p>笠縫222</p>	<p>2 はせがわ じゅんこ 長谷川 順子</p>  <p>赤沢353</p>	<p>3 たけだ かずひろ 武田 一宏</p>  <p>柳町5-15</p>	<p>4 パタソン ひとみ</p>  <p>平戸143-11</p>	<p>5 さかい えつこ 坂井 悦子</p>  <p>本人の都合により 掲載できません</p>
<p>6 くりはら よしゆき 栗原 義幸</p>  <p>川寺533-4</p>	<p>7 なかもと ふとし 中元 太</p>  <p>落合364-47</p>	<p>8 せきた なおこ 関田 直子</p>  <p>岩沢862</p>	<p>9 おおつ つとむ 大津 力</p>  <p>飯能339-6</p>	<p>10 のぐち かずひこ 野口 和彦</p>  <p>美杉台7-16-97</p>
<p>11 うちだ けんじ 内田 健次</p>  <p>原市場654-4</p>	<p>12 すぎた ひろし 相田 博之</p>  <p>川寺38-1</p>	<p>13 たきざわ おさむ 滝沢 修</p>  <p>岩沢1146-1</p>	<p>14 あらい たくみ 新井 巧</p>  <p>井上732-7</p>	<p>15 かねこ としえ 金子 敏江</p>  <p>大河原794-1</p>
<p>16 かとう ゆきお 加藤 由貴夫</p>  <p>新町25-1</p>	<p>17 とりい のぶあき 鳥居 誠明</p>  <p>緑町13-13</p>	<p>18 かわく ひろたか 加涌 弘貴</p>  <p>美杉台2-11-5</p>	<p>19 のだ なおと 野田 直人</p>  <p>飯能1211</p>	

# 改選後の新体制を決定

議長に 中元太議員、副議長に 関田直子議員を選出

4月25日に市議会議員が改選されたことに伴い、5月18日に第2回臨時会が開かれました。

始めに正副議長を選挙によって決め、その後に常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、埼玉県都市競艇組合議会議員・広域飯能斎場組合議会議員・埼玉西部消防組合議会議員の選挙などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

## 議長・副議長就任あいさつ

～身近で開かれた議会を目指して～



議長 中元 太



副議長 関田 直子

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この度、私たちは4月の改選後初めて開かれました令和3年5月臨時会におきましてご推挙いただき、議長、副議長に就任いたしました。改めて職責の重大さを認識し、円滑な議会運営に力を合わせて全力で取り組む所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に重大な影響を及ぼしている現在、市民の皆様の安全・安心の暮らしを守るため、市議会に求められる役割はますます大きくなっております。

市民の皆様から負託を受けた我々市議会として覚悟と責任を持って、皆様の声に耳を傾け、身近で開かれた議会を目指して取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

### 会派の構成

◎代表者（令和3年6月4日現在）

みどりの会	◎野田 直人	加藤由貴夫
チームはんのう	◎大津 力	バタソンひとみ 野口 和彦
ネクストはんのう	◎武田 一宏	関田 直子
飯能みらい	◎加涌 弘貴	内田 健次
公明党	◎栗原 義幸	熊田 尚子 中元 太
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修 新井 巧
日本維新の会	◎坂井 悦子	
無所属	長谷川順子	梶田 博之 鳥居 誠明

### 委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	◎野口 和彦 加藤由貴夫	○栗原 義幸	武田 一宏	坂井 悦子	内田 健次	新井 巧
総務教育委員会	◎梶田 博之 野田 直人	○武田 一宏	長谷川順子	中元 太	野口 和彦	新井 巧
生活福祉委員会	◎大津 力	○内田 健次	熊田 尚子	関田 直子	金子 敏江	加藤由貴夫
経済建設委員会	◎栗原 義幸	○バタソンひとみ	坂井 悦子	滝沢 修	鳥居 誠明	加涌 弘貴

# 議案の審議

5月臨時会は、5月18日に開かれ、市長提出議案5件、その他2件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

6月定例会は、6月4日から22日までの19日間開かれ、市長提出議案10件、その他1件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

## 5月臨時会

### 市長提出議案

⑳専決処分の承認を求めるところについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第2号))

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5118万4000円を追加し、総額をそれぞれ301億6095万円とするもの。

**問** 特別給付金についての考え方は。

**答** 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯に対し生活支援を行うため、食費等の支出の増加を勘案し児童一人当たり一律5万円を支給するもの。

## 6月定例会

### 市長提出議案

㉒飯能市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するもの。

**問** 扶養親族の範囲の見直しの考え方は。

**答** 納税義務者の担税力を低下させてしまつことのない扶養親族を控除対象扶養親族から除外とする所得税の見直しの趣旨は、個人市民税における非課税限度額の制度趣旨と合致するものであり、今回の見直しは令和6年度以降の個人市民税に適用される。

㉔令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ396万円を追加し、総額をそれぞれ69億3554万円とするため提案するもの。

**問** システム改修が必要となる制度改正の内容は。

**答** 負担の均衡を図ることを大前提として大きく2つの改正があり、1点目は高額介護サービス費の負担限度額の見直しに係るもの。2点目は特定入所者介護サービス費、いわゆる補足給付における食費の見直しによるものである。

▼討論▲  
反対の立場

高額介護サービス費の負担限度額が、所得に応じて最大月14万100円まで引き上げられる

こと、特定入所者介護サービス費の補足給付における食費が見直されるとともに資産要件の厳格化が盛り込まれるなど、介護保険サービス利用者に負担増をもたらすことから、反対する。

### 賛成の立場

高額介護サービス費は所得に応じて細分化されたものであること、食費については施設入所の方にだけ給付されるのは不公平であることなど、公平性の観点から見直されたことから、賛成する。

㉕専決処分の承認を求めるところについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億165万5000円を追加し、総額をそれぞれ302億6260万5000円とするもの。

**問** 特別給付金の給付状況は。

**答** ひとり親世帯以外への給付金となり、原則、令和3年度の住民税均等割が非課税の世帯等が対象となる。国が示した推計値を用いて算出したところ、対象児童は1726人を見込んでいる。

㉖令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億7492万6000円を追加し、総額をそれぞれ305億3753万1000円とするため提案するもの。

**問** 災害復旧費の増額理由は。

**答** 有間ダムの災害第217号の斜面崩壊の現場でセメントによる地盤の改良が必要なこと、赤沢地内の下原橋について、橋脚のない短径間の構造に変更したこと増額補正が必要となった。

**問** 保育所等支援事業の補助金の内容は。

**答** 加治幼稚園が令和4年4月1日から幼稚園型認定こども園に移行することに伴い、旧園舎の改修や新園舎の建設に係る施設整備等に対し、国から交付金の内示が出たもの。

**問** 小学校教育推進事業の内容は。

**答** タブレット端末を先行導入した奥武蔵小学校及び中学校の成果がすばらしいため、広く県内に広めてほしいという趣旨で県教育委員会から情報活用能力育成推進事業の委嘱を受けたもの。

# 委員会の

# 審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査をするため総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

なお、5月臨時会で上程された議案は、議事の都合により委員会への付託を省略しました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

## 総務教育委員会

④② 飯能市税条例の一部を改正する条例

● 扶養親族のうち日本人・外国人を問わず年齢30歳以上70歳未満の国外居住親族は、原則として除くこと。ただし、年齢30歳以上70歳未満の者であっても留学により非居住者となった者、障害者、生活費・教育費に充てるための送金等を38万円以上受けている者のいずれかに該当する場合には、控除対象扶養親族に該当すること。

④⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

● 子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費交付金は、給付事業と税情報との連携が必要のため、システム改修の委託料等に充当すること。

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

● 認定こども園施設整備交付金は、1月に県とのヒアリングがあり、4月に交付決定されたことから今回の補正予算に計上した。

● 情報活用能力育成推進事業では、タブレットを活用し先進的な取り組みを行っている先生を講師として招くこと等を計画していること。

## 生活福祉委員会

④③ 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

● 電磁的方法による記録の内容については、事業者の負担軽減を図る観点から、職員や児童に関する名簿、財産及び収入に関する書類などであること。

④⑥ 令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)

● 今回の改正は3年ごとの介護報酬の改定に併せて、社会保障審議会をはじめとした専門的な会議で検討されてきたこと。

● 介護サービス費は、現役並み所得がある方に相応の負担を求めるもので、年収約770万円までは月額9万3000円、年収約1160万円以上は月額14万1000円の上限を新設する改正であること。

● 補正給付は、在宅、デイサービス利用、施設入所など誰でも食事をとるため、負担は公平であるという観点から見直しが行われたこと。

(反対討論あり)

④⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

● 国の資料では夫婦と子ども2人の4人家族の場合、住民税均等割非課税相当収入限度額が255万7000円であること。

● 申請期間は令和4年2月28日まで予定していること。

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

● 加治幼稚園の認定こども園整備については、現在の園舎の工事内容は外壁の補修塗装、屋根材の更新改修、トイレの全面改修、駐車場の整備等であり、新園舎については4歳児及び5歳児の保育室2部屋、トイレ、会議室、相談室等を設ける予定であること。

● 認定こども園への移行に当たり、現在の園舎では不足する4歳児及び5歳児の保育室を新園舎として建設するものであり、3歳児の保育室がなくなるわけではないこと。

## 経済建設委員会

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

● 住宅用太陽光発電システム等設置補助金は、今年2月に埼玉県西部地域まちづくり協議会の構成市と共同でゼロカーボンシティを表明したこと、政府が2050年カーボンニュートラルを宣言していることから可能な限り継続したいと考えていること。

● 地方創生推進交付金はノーマ栗の指定管理料に充当し、魅力ある地域づくり事業補助金はブランドオープン実行委員会補助金に充当して、ノーマ栗のブランドオープンセレモニーの開催に向けた諸費用に使用すること。

● 阿須小久保線から産業道路までの区間整備については、阿須小久保線から双柳小学校までが昨年5月に開通し、それ以外の区間は、双柳小学校グラウンド東側の南北道路と双柳小学校正門前から産業道路までの東西道路が今年度に開通する予定であること。

● 災害復旧事業の財源としている地方債は、交付税措置率が高いこと。

令和3年5月臨時会 議決結果

■全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
36	専決処分の承認を求めることについて（飯能市税条例等の一部を改正する条例）	承認
37	専決処分の承認を求めることについて（飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
38	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第2号））	承認
39	公平委員会委員の選任について（平沼 則子 氏）	同意
40	監査委員の選任について（加涌 弘貴 氏）	同意
	議員派遣の件	派遣
	閉会中の継続調査申し出の件（議会運営委員会）	申出書のとおり

令和3年6月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		熊田尚子	長谷川順子	武田一宏	パットンひとみ	坂井悦子	栗原義幸	中元太	関田直子	大津力	野口和彦	内田健次	相田博之	滝沢修	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	鳥居誠明	加涌弘貴	野田直人	
46	令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	×	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決

※中元太議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
41	飯能市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
42	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
43	飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
44	飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
45	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
47	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第3号））	承認
48	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について（中山 亨 氏）	異議はない
49	公平委員会委員の選任について（川田 憲治 氏）	同意
	議員派遣の件	派遣



◆議員20年以上  
滝沢 修議員



◆議員20年以上  
加藤由貴夫議員



◆議員20年以上  
鳥居 誠明議員

議員表彰

全国・埼玉県の各市議会議長の定期総会において、20年以上市議会議員の職にある者として、鳥居誠明議員、加藤由貴夫議員、滝沢修議員が表彰を受けました。

公平委員会委員の選任について




川田 憲治氏      平沼 則子氏

公平委員会委員萩野頼子氏が令和3年3月31日をもって委員を辞職したため、新たに平沼則子氏を選任することについて、全員同意しました。また、公平委員会委員川田憲治氏が令和3年6月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について



中山 亨氏

人権擁護委員中山亨氏が令和3年9月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

監査委員の選任について



加涌 弘貴議員

議員のうちから選任する監査委員として、市議会議員加涌弘貴氏を選任することについて、全員同意しました。

人事案件



栗原 義幸 (公明党)

脱炭素社会の構築に向けて  
浸水対策の進捗と取り組み  
顔振峠付近のトイレの課題

**問** 国では、2050年までに温室効果ガスの排出ゼロを目指すことが法的に位置付けられた。本市では、埼玉県西部地域まちづくり協議会において「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明したが、緑豊かな環境から、脱炭素へ向けた特徴的な試みも可能。今後の具体的な取り組みは。

**答** 本市では、1. 森林の整備と保全及びその活用、2. 再生可能エネルギーの利用・促進、3. 省エネルギーの推進等、主に3つの視点から取り組みを進め、目標達成を目指していく。

**問** ここ数年の気象は、気候変動が顕在化し、台風や集中豪雨による水災害が頻発している。特に原町地区を中心とした浸水対策が急務。現在までの対策等の進捗及び取り組み状況は。

**答** 昨年度は基本設計委託を実施し、最も有効な対策方法として主に軽減処置と抜本的対策を検討した。軽減処置は、下水道の閉塞を防ぐスクリーンの設置や藤田堀の断面の見直し、簡易止水壁の設置等が挙げられる。抜本的対策は貯留施設の設置が必要との結果である。

**問** 貯留施設は広範な面積の公有地等、例えば飯能高校グラウンドや市役所駐車場等が考えられる。用地の選定についての考え方や検討状況は。

**答** 水利的な効果が見込めることや必要容量の確保等の必要性から飯能高校のグラウンドも候補と考えるが、県との協議等が課題である。

**問** 奥武蔵グリーンラインの顔振峠付近は、気軽に山登りが楽しめる人気のスポット。併せてコロナ禍の影響で、来訪者も増加傾向である。しかし観光トイレがないことから、お店や近隣世帯では来訪者のトイレの対応に苦慮している。観光トイレや仮設トイレ等は検討できないか。

**答** 周辺は、未給水地区でもあり、し尿の処理や清掃、日常のメンテナンス等の維持管理が大きな課題である。諸課題を整理し検討したい。



奥武蔵グリーンライン顔振峠



# 市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は12人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



熊田 尚子(公明党)

コロナ禍の子ども・子育て支援  
生理の貧困問題への対応  
HPVワクチンについて

**問** コロナ禍での児童・生徒の心に寄り添う支援について、各学校での状況は。

**答** コロナ禍の不安とストレスを受け止め、心に寄り添った対応をしていくことは大変重要と認識している。個別面談を行い定期的な記述調査を実施するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラーにSOSを出すことができる体制を整えている。また、各学校・教育センターで保護者の悩みにも寄り添えるよう、電話や面談等、随時受け付け、保護者との十分な情報共有と連携を図り、今後も迅速な対応に努めていく。

**問** 生理の貧困と言われる問題について、経済的な理由やネグレクトなどで生理用品が買えない問題への対策として、小中学校の個室トイレで生理用品を無償提供できないか。

**答** 家庭の経済的状況や虐待、ネグレクト等の問題に気づけるよう、アンテナを高くして対応し、現在は保健室で保管し必要とする児童生徒に生理用品を無償提供している。今後子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、提供方法、提供場所等について最善となるよう、管理職、養護教諭等と協議していく。

**問** 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン定期接種について、国がHPVワクチンに関する現状をわかりやすく整理した新リーフレットを発表し、市町村にも活用を求めている。最新情報である新リーフレットを最終学年である高校1年生へ郵送により通知できないか。

**答** 今年度の取り組みとしては、既に小学校6年生の女子児童に対し、個別通知を発送している。他の接種年齢の対象者に対しても接種を希望される方が接種の機会を失うことがないように市のホームページや広報はんのうを活用し、周知の徹底を図り、今後も動向を注視して、最適な接種環境が維持できるよう、検討を重ねていく。



厚生労働省  
子宮頸がん予防リーフレット



大津 力(チームはんのう)

森林文化都市創造について  
飯能河原について  
銀座通りについて

**問** 株式会社大林組との循環型森林利用に関する基本協定の内容は。

**答** 連携・協力事項は、①地域と連携した循環型森林利用に関する事、②地域と連携した西川材の需要拡大に関する事、③森林資源を有効活用する木材コンビナートに関する事、④地域の新たな魅力創出に向けた森林の多面的活用に関する事、⑤森林共生都市の構築による地方創生に関する事である。

**問** 飯能河原の利用者数を抑制する効果も考えて、飯能河原でバーベキューをする利用者から入場料を徴収するというのはいかがか。

**答** 埼玉県では今年度から新たに、官民連携のもと商業利用も可能な魅力的な水辺空間を創出する「水辺deベンチャー事業」を開始した。市では本事業の候補地登録を行い、当該事業の活用も含め、飯能河原を市民の皆さんや観光客が、より快適に過ごせる魅力のある空間となるよう、有料化なども含め検討したいと考えている。

**問** 河川内でマナーを守らない利用者に注意できるよう、警備員を配備することはできないか。

**答** 河川内での行動に対する注意に関しては、難しい状況だが、周辺道路、生活区域での駐停車やゴミの投棄などの防止には効果が期待できることから、しっかりと検討したい。

**問** 銀座通りの一方通行の逆走に関して、事故を起こさないためにも、早急に対策をお願いしたいが。

**答** 早速、飯能警察署とも情報の共有をさせていただき、その対策についても連携を取りながら検討したい。



飯能銀座商店街





**武田 一宏** (ネクストはんのう)

G I G Aスクール構想の今後  
災害に強い地域づくり  
無観客での催しの開催

**問** 現在の公立小中学校の授業におけるタブレット利用の進捗状況は。

**答** 全ての教室で児童生徒が主体的に活用している。

**問** 教職員へのサポート体制は。

**答** 担当者会議をオンラインで実施し、学校間の情報共有、活用上の疑問や問題点の解決を行っている。また、各学校内で授業を公開し合う校内研究や疑問を聴き合える同僚性を構築しサポートを行っているほか、市教委の担当指導主事が、校内研修への支援や指導助言を行っている。

**問** 学習ソフトや電子教科書の導入などの予定は。

**答** 今後の導入に向け検証を行っている。

**問** 子どもをネット犯罪等から守るための保護者向けのタブレットの使い方指導やネット犯罪防止啓発等はどの程度行われているか。

**答** 「保護者向け手引き」を作成し配布したほか、保護者向け研修会等を計画し、インターネットリテラシーの向上について対応していく。

**問** 予定されているタブレットの更なる活用法は。

**答** 海外在住の方とリアルタイムでの交流やWeb会議システムでの授業、職員会議資料、学校だより、PTA広報などの電子配布で業務効率化を図る。

**問** コロナ禍の自主防災組織の活動状況は。

**答** 昨年度、防災訓練を実施した団体は14団体、出前講座を実施した団体は41団体である。

**問** 活動事例の周知はされているのか。

**答** 各自主防災組織へ感染防止対策を講じたうえで実施可能な訓練や各家庭で行う訓練内容の事例一覧を作成し広報紙やHPにて発信している。

**問** 無観客でも市民会館で催しが開催できるよう配信環境を整えてはどうか。

**答** 配信設備の完備は多額の費用がかかってしまうが、インターネット回線のみを設置であれば、初期費用、維持管理費ともに安価に行えるので、利用要望等も含めて調査・研究を行う。



G I G Aスクール構想



**新井 巧** (日本共産党)

運転免許証自主返納者へ支援を  
豪雨災害を防ぐため河川整備を

**問** 高齢者の事故や免許証返納の実態を見てみると85歳以上の事故が大変多く、75歳以上からの返納が急速に増えている。高齢化率が高い飯能市にとって深刻な課題だ。県内で、50の自治体がバス代、タクシー券の補助など独自の支援をしている。加治・精明地区で始まった「乗合ワゴン」を中山・中居など他の市街地へ運行エリアを拡大することやバス代補助、吾野地域で始まった住民タクシー「奥武蔵らくらく交通」を含めたタクシー利用券などの支援ができないか。

**答** 乗合ワゴンのエリア拡大は難しい。移動・交通ネットワークを構築していくことが最優先の課題。運転免許証返納者への支援策は今後、研究・検討を進めていく。

**問** 今年度、中藤地域の交通のあり方を検討することになっている。中藤地域は、国際興業バスが運行しているが、利用者は少ない。住民の声を聞いての私案だがワゴン車等で、これまでバスが乗り入れられなかった地域も循環し、倉掛峠から土屋医院やエコス、新寺方面を循環することなどを検討できないか。

**答** 具体的な案がまとまり次第、交通協議会、議会に示した後、地域に出向き検討を進めていく。提案の地域循環については、検討を進める上での参考とする。

**問** 床上浸水した唐竹、国道299号まで冠水した井上・虎秀地域の高麗川など、河床のしゅんせつ(土砂撤去)や草木など障害物の除去、護岸の嵩上げなどはどうなっているか。

**答** 県土整備事務所に確認したところ、唐竹については堆積土砂の掘削工事を発注した。大型土のうを設置してある箇所は構造物設置を計画。高麗川については測量を実施し、掘削工事、障害物除去と工事範囲を検討中とのことである。



草木が生えた河床





パタソンひとみ(チームはんのう)

豪雨災害防災対策  
同性パートナーシップ制度導入  
サスティナブルなまちづくり

- 問** 豪雨災害による旧東吾野小学校の土砂崩れの復旧と、避難所の利用開始はいつになるか。
- 答** 復旧については、学校法人早稲田学園と市間の協議を進める中で併せて協議していく。校舎は避難所として現在も利用できる。
- 問** 近年の豪雨により土砂を含んだ水流が河川へ運ばれ川底に堆積することで、水位を上げる原因になると思うがどのような対策をしているか。
- 答** 県管理であり、堆積土砂の測量を実施済。今年度は掘削工事を実施する予定で、測量結果に基づき工事範囲の調整中である。
- 問** 切り捨て間伐が豪雨時に河川へ流れ、家屋や橋脚、護岸の破損、川に堆積し氾濫の原因となったが森林管理保全対策で改善できないか。
- 答** 間伐材が移動しないよう等高線に平行に整理。増水により流出しないよう措置。家屋や道路、急傾斜地で滑落、流出しないよう措置。この3点を徹底し個人や事業者には注意喚起している。
- 問** ペットがいるので避難できないという方々への避難所の対応は。
- 答** 避難所での衛生面、アレルギーの面などを留意し屋外などに持参のゲージを置ける場所を確保し、大型犬はつなぐ場所を設置していく。
- 問** 同性パートナーシップ制度の導入と広域での相互協定の必要性が今あると考えるがいかがか。
- 答** 社会的に承認される制度により安心の社会づくりをダイアのまちづくり協議会とも検討する。
- 問** 持続可能な開発目標の取り組みについて、国外のグリーンスクールや木更津市のオーガニックシティプロジェクトなどを参考にしては。
- 答** SDGsの7、13、15番が該当する。森林整備、保全及び自然体験、環境教育への西川材の活用。ゼロカーボンシティへの取り組みの再生可能エネルギーの推進を近隣4市と連携しサスティナブルな環境負荷の軽減を進める。



グリーンスクール室内



長谷川 順子(無所属)

阿須山中メガソーラー問題  
地元の説明会、市有林の伐採木  
コ克蘭の移植について

- 問** 初めて市が説明会に加わったのは、工事着工3日前、2020年10月11日。その後、住民の要求で11月29日に再度行われた説明会では多くの住民から不安の声が上がった。12月9日には、阿須地区の住民78名の連名で大野埼玉県知事に対して、事業の執行の即時停止と許可処分の取消しを求める行政不服審査請求が出された。これまでの説明が不十分だったのでは。
- 答** TBSの「噂の東京マガジン」は、本事業の説明・紹介内容が著しく不足していることから、地元の皆様と対話することでその不安を少しでも取り除くことができるのではないかと考え、自治会の要請に応じて市と事業者が説明を行ったものである。
- 問** 伐採木の取り扱いについて、市民からの質問に、市は「伐採搬出、加工等に係る費用を見積もったところ、伐木の売払いによって生じる見込みの利益を大幅に上回ったことから、その利益を事業者が負担した伐採等に係る費用に充てることとしている。」と回答しているが、伐採した樹木の売却代金は100%、市の収入とすべきではないか。
- 答** 売り上げ代金については相手方に委ねる形の措置をとったので、市の収入になるということではない。
- 問** 売却先の事業者名は。
- 答** 処分先は把握していない。
- 問** コ克蘭を踏んだとする証拠は何か。それは確実な証拠なのか。確実な証拠もなく事実と反する内容を市HPでいつまで公開し続けるのか。
- 答** コ克蘭を踏みつけた証拠となる写真や録音記録はない。市では報告書、職員の聞き取り調査の結果により内容が事実であると認定。現在のところ撤回する考えはない。



『阿須山中市有林』の伐木のほんの一部





**内田 健次** (飯能みらい)

投票率向上のための施策  
ノーラ名栗について  
森林・林業施策について

- 問** 今回の市議選の投票率とその分析は。
- 答** 投票率は47%。コロナ等により前回より低下。
- 問** コロナ禍での対応は。
- 答** マスク着用、距離の確保、鉛筆等の消毒を行い感染症対策を徹底した。
- 問** 投票率向上の策だが、県選管が3月に発表した「投票率向上に関する報告書」から、期日前投票所の増設がよいと読み取れた。是非実現してほしいが。
- 答** 条件が揃えばと考えるが、二重投票防止やWi-Fi環境等整備が必要。
- 問** 4月にグランドオープンしたノーラ名栗はどのような施設で、その波及効果は。
- 答** ①交流拠点、②農林振興拠点、③北欧文化体験拠点、④地域と連携した地域活性化の拠点の4つの運営方針。グランピングテントとガゼボが10棟、管理棟、トイレ、ファイヤーピット、フィンランドサウナ9張、野外ステージとなっている。数多くのメディアが取り上げ、昨年度の観光客は7万3千人で、4月から8月末までの宿泊予約者は約1,600人。ノーラ名栗の新規スタッフ21人のうち、7人が市内在住であり、雇用面でも地域への波及効果がある。
- 問** ノーラ名栗への投入資金は。
- 答** 施設整備の総額は約2億9,509万円、そのうち、国から約1億1,500万円、県から約1,000万円、地方債約1億円、ムーミン基金から約6,600万円等で、市の一般財源からの持ち出しは、施設整備総額の約1%の308万円である。
- 問** 基本協定を結んだ大林組との連携は。
- 答** 大林組の物づくりのノウハウと連携し、森林・林業再生に取り組む。
- 要望** 選管の目標として①市民への啓蒙、②正しい選挙、③投票率向上に更に取り組んでほしい。



ノーラ名栗グランピング施設 (手前側)



**鳥居 誠明** (無所属)

まちづくりについて「ノーラ名栗」「市街地への保育所設置」  
公共施設等の安全性について

- 問** ノーラ名栗は、まん延防止等重点措置の開始後9日目にグランドオープンしたがその対応は。
- 答** 酒類提供の自粛、検温等の対策をした。
- 問** 建設に当たっての事業費や他の経費の内訳は。
- 答** 施設整備、管理運営事業費の総合計は約3億9,000万円。内訳は国費が約1億7,400万円、県費約1,000万円、地方債が約1億円、市費はムーミン基金約6,600万円と一般財源の約3,700万円。
- 問** 5年間の収益と利用客数の見通しは。
- 答** 利用客数は50万人、令和2年度～6年度の5年間の収入見通しは5億2,000万円である。
- 問** 各施設のプライバシー保護や治安の維持は。
- 答** 昼間はスタッフ数名が常駐。グランピングエリアには木の柵。夜間は総合受付にスタッフ常駐。
- 問** 指定管理者から市に対し納付金の見通しは。
- 答** 令和4年度～6年度に納付する基本協定がある。
- 問** 商店街との連携はどのようになっているのか。
- 答** 商店街の地図配布や物販等の協議をしている。
- 問** 久下六道線は平成25年度に予算付けされていたが市長は凍結した。その背景は。
- 答** 管理元は県だが将来を見越して市道認定し、平成23年に現況測量した。飯能郵便局から踏切間は約2,000万円が予算計上され完成した。
- 問** 飯能駅北口、中心市街地に保育所の建設を。
- 答** 現状は公営の保育施設を建設する予定はない。
- 問** 元加治駅南口開設についての進捗は。
- 答** 入間市は飯能市主導で設計をして欲しいとのこと。近々、事務レベルでの協議を行う。
- 問** 飯能中央地区行政センターは山手町用地に移転しては。
- 答** 公共施設等総合管理計画や財源等を踏まえ検討。
- 問** 耐震性のない浅間、第二区、吾野保育所は子どもや職員が不安。指定避難所なので対策を。
- 答** 公共施設等総合管理計画や財源等を踏まえ検討。



ノーラ名栗





滝沢 修 (日本共産党)

乗合ワゴン本格運行に向けて  
早期の施設整備で大規模放課後  
児童クラブ解消

**問** 飯能市乗合ワゴンの実証運行が3月から始まった。公共交通の不便な場所では、このような交通を早く作ってほしいとの要望が多かった。利用者から「スーパーや市役所へ行くのに家族に頼まなくても良くなった」「もう少し本数を増やしてほしい」などの意見も出ている。実証運行の状況や利用者の意見など、どのように把握しているか。

**答** 利用実績は5月31日現在で、延べ1,105人、1便当たり4人程度の利用。買物や通院目的で東飯能駅周辺への利用が多く見受けられ、市役所や行政センターへの移動など様々な利用がある。また、回数券などの要望もある。

**問** 来年1月を目途に本格運行に移行するとのことだが、多くの方に利用していただきたい。まだ乗合ワゴンの運行を知らない方や停留所の場所が分からない方もいる。より周知を図ると共に地域の意見や要望を取り入れることが必要であるが、今後の取り組みは。

**答** 周知が行き届かない状況もあり、今年度一人暮らしの高齢者にチラシの戸別配布も行った。本格運行に向け、実証運行によって得られたデータやアンケート結果の分析を行っていく。

**問** 放課後児童クラブでは、コロナ禍の中で公民館の学習室等を利用するなど、密を避ける対応を図りながらの保育が行われている。入所児童が増加している加治東の放課後児童クラブは、コロナの影響と施設の問題から4年生以上の受け入れができない状況となっている。施設の増設など整備が必要であるが。

**答** 放課後児童クラブへの入所を希望する児童はまだまだ増加していくと考える。加治東を含め市内の放課後児童クラブの状況を注視し、大規模となっている児童クラブの解消に向け取り組んでいく。



乗合ワゴン



坂井 悦子 (日本維新の会)

行財政改革視点での公用車の更なる活用について

**問** 年間執務時間における稼働率を踏まえ削減等の維持管理が必要では。

**答** 共用車は年間執務日数の8割超、年間執務時間の半分以上稼働。適正な管理・運用である。

**問** 適正台数は具体的に設定すべきでは。

**答** 総台数175台。稼働率は高く、広い行政区域に公用車は必須。災害にも備え、必要最小数。

**問** 廃車状況は10万キロに満たないものが多い。キロ数が少ないが、資産活用しきれているか。

**答** 入替の判断は、経年の他、車両の状態、故障頻度等を考慮し適正に行っている。

**問** 所属部署単位で分けず共用車を増やせば、稼働率も走行距離も適正になるのでは。

**答** 行政区域が広く、各施設が市域全体に点在。各施設での効率的な業務、ライフラインの適正管理に各部署の公用車管理は必要不可欠。

**問** 公用車の管理には詳細なデータが必須でデジタル化は急務。官民包括連携協定を用い、記録や予約を一元管理できるようにしては。

**答** システム運用などコストも含め調査研究する。

**問** 稼働率が高くない、走行キロ数が少ない等の車両は、民間のカーシェアを活用しては。コストや管理の手間を含めメリットがあるのでは。

**答** メリットやデメリット、効果など検証が必要。

**問** 執務時間外や休日など遊休資産となる時間帯にカーシェアで一般の方が利用できるサービスを官民連携事業で進める検討はいかがか。

**答** 地理的条件、公用車の状態等から研究が必要。

**問** 公用車の安価な企業広告導入はいかがか。

**答** 埼玉県条例により官公署や公民館など禁止区域での広告掲出は通行不可と考えられる。

**問** 県議会でも議論されており、自主財源確保は重要。ドライブレコーダーを導入し、道路管理や見守り等の兼務で経費削減を進めては。

**答** 車両入替えて順次導入。効果の有益性は認識。

公用車のカーシェアリング

**官民 連携**

EVの普及促進	交通利便性向上
環境への配慮	地域活性化
二次交通確保	交通体系強化



金子 敏江（日本共産党）



エッセンシャルワーカーにワクチン優先接種を  
学校給食費無償化へ取り組みを

**問** ワクチン接種は、市町村の責任で実施することとされ全庁を挙げて取り組んでいるところだが、人との接触が不可欠で、感染した場合の影響が大きい介護施設職員・訪問系の職員、保育士、幼稚園教諭、教職員、学童保育指導員などのエッセンシャルワーカーに対して、市の判断で優先接種が必要と考えるがいかがが。

**答** 65才以上の高齢者を対象とした優先接種の実施にあたって、クラスター防止の観点から希望する施設入所者へのワクチン接種を4月30日から実施し、施設従事者も同様に対応している。また、6月10日に埼玉県が発表した今後の接種方針では、暮らしを守る上で必要不可欠な仕事に従事するエッセンシャルワーカーも、優先接種の対象に加える方針が示されたので、市としても65才以上の高齢者へのワクチン接種完了後に、接種開始できるよう実施方法などを検討している。また、キャンセル発生時の対応も考えている。

**問** 子育て世帯の経済的負担軽減の観点から「小中学校及び保育所給食費の無料化を求める署名」の第一次1,190名分の署名を6月2日に提出した。県内では完全無償化が4自治体、一部補助が15自治体、コロナ交付金を使っての期限付補助が26自治体に達している。市としてもできるところから実施してほしいがどうか。

**答** 自校での給食調理場が9カ所、共同調理場が5カ所の計14カ所ので地元食材の使用やアレルギーへの対応などのきめ細かな対応をとっているが、財政的な負担も多くなっている現状にある。一部自治体で無償化や一部補助を実施していることは承知している。そこで、公費負担と子育て支援のあり方について、総合的な検証が必要な時期に来ていているとして、市長から総合的な検証・議論を進めるよう指示があった。全庁的な検討組織の設置を開始する。



市民から  
市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

① 安心安全の医療介護の実現と国民のいのちと健康を守るため国へ意見書提出を求めることに関する陳情

提出者

埼玉県医療介護労働組合連合会

執行委員長 宮本 まき子

② 飯能市は国に対し、2030年エネルギー基本計画の改定に際して脱炭素化、再生可能エネルギー電力の大幅な拡大を盛り込むよう、意見書を提出することに関する陳情

提出者

飯能市民ネットワーク準備会  
代表 長谷川 しのぶ

傍聴者の皆様へ

傍聴規則が改正されました

★改正のポイント★



① 携帯電話やスマホ・パソコン等は電源オフに

携帯電話・スマートフォンその他音の発生する機器及びパソコン・タブレット等の情報通信機器は電源を切ってください。傍聴席では使用できません。

② 休憩中もお静かに

傍聴席では、会議中だけでなく、会議の開会前、休憩中又は閉会后においても静かにし、規則を守って、係員の指示に従ってください。



# 市議会案内板

## HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



じゃがいも収穫（東吾野地区）

### 審議の日程

#### 5月臨時会

- 18日 開会、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員選任、埼玉県都市競艇組合議会議員選挙、広域飯能斎場組合議会議員選挙、埼玉西部消防組合議会議員選挙  
市長提出議案の上程・質疑・討論・採決  
市長提出その他議案の上程・提案理由説明・採決、閉会

#### 6月定例会

- 4日 開会  
市長提出議案の上程  
9日 議案質疑、議案の委員会付託  
10日 常任委員会（総務教育・経済建設）  
11日 常任委員会（生活福祉）  
15日 一般質問  
16日 一般質問  
17日 一般質問  
22日 委員長報告・質疑・討論・採決  
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決  
閉会

### 議会日誌

#### 4月

- 6日 広報委員会  
19日 埼玉県都市財政研究会定期総会  
27日 関東市議会議長会定期総会（書面会議）  
28日 政務活動費審査会

#### 5月

- 6日 新議員研修  
7日 新議員研修  
11日 全員協議会  
18日 第2回臨時会  
20日 埼玉縣市議会議長会第二区議長会定期総会  
21日 代表者会議  
25日 全員協議会  
26日 全国市議会議長会定期総会（書面会議）  
27日 広域飯能斎場組合議会臨時会

#### 6月

- 1日 議会運営委員会  
4日 第3回定例会（6月22日まで）  
広報委員会

#### 7月

- 7日 広報委員会

### ◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索



☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継をしています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問をライブ中継しています。

### 次回の9月定例会は 9月3日開会予定です。

会期日程等は8月31日頃内定します。

### \* 編集を終えて \*

今号は、5月の臨時会と6月定例会の報告となっています。新型コロナウイルス対策としての補正予算が審議・可決されるとともに、着実に「ワクチン接種」も進んでいます。元の生活に戻れるまで、感染防止に努めましょう。

また、57年ぶりに日本で開催のオリンピック・パラリンピックを契機にスポーツを通じて平和な世界が広がることを願っています。

さて、令和3年4月に市議会議員選挙があり、広報委員の顔ぶれも新しくなりました。委員一同「広報」にとどまらず「広聴」にも力を入れ、開かれた市議会を目指してまいります。

（内田）



広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子  
バタソン ひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）  
7/30～8/3、8/20～8/23、9/17～9/20

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711  
（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）